



第2期中間期(2009年9月期)決算 について

2009年11月27日

第2期中間期（2009年9月期）決算について

1. 決算サマリー(単体)	・・・ 2
2. 損益計算書(単体)	・・・ 3
3. 貸借対照表(単体)	・・・ 4
4. 業務別損益概況(単体)	・・・ 5
5. クレジットコスト・投資損益(単体)	・・・ 6
6. 不良債権の状況(単体)	・・・ 7
7. 金融再生法開示債権の保全状況(単体)	・・・ 8
8. 連結損益計算書・連結貸借対照表	・・・ 9
9. 金融危機対応業務にかかる実績について	・・・ 10

1. 決算サマリー(単体)

①概況

- ◆危機対応業務に伴う残高増加や利鞘の拡大による資金利益の増加、CDSの評価益計上等により、業務粗利益は2009/3期比326億円増加となる787億円の黒字を計上。
- ◆与信関係費用は、一部取引先の債務者区分の変更により、一般貸倒引当金・個別貸倒引当金の異動はあったが、全体として127億円の戻入益を計上。
- ◆株式等関係損益、ファンド関連損益は、全体として底を打ったとみられることから赤字幅は縮小し、44億円の損失計上にとどまった。
- ◆この結果、2009年度中間期決算は、経常利益550億円、中間純利益469億円の黒字を計上。

②危機対応業務の影響

- ◆2009/9末時点の貸出金残高は、2009/3末より1兆917億円増加の13兆1,184億円。

③財務健全性の確保

- ◆自己資本比率：19.29%
[単体・Basel II基準、速報値]
- ◆2009/9に1,032億32百万円の政府出資による増資を実施。

(単位：億円)	2008/9期 (6ヶ月決算)	2009/3期 (6ヶ月決算)	2009/9期 (2010/3期中間期)	(参考)前期 (6ヶ月)比増減
業務粗利益	470	461	787	326
業務純益(一般貸引繰入前)	308	309	628	319
業務純益(一般貸引繰入後)	61	△729	628	1,358
経常利益(△は経常損失)	△294	△1,189	550	1,740
中間純利益(△は当期純損失)	△276	△1,292	469	1,761
与信関係費用(△は益)	471	1,222	△127	△1,349
株式等関係損益(△は損失)	△169	△120	△6	113
ファンド関連損益(△は損失)	53	△127	△37	89
合計	△116	△247	△44	203

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値であります。

(単位：億円)	2008/9末	2009/3末	2009/9末	(参考)前期 (6ヶ月)比増減
貸出金残高	112,946	120,266	131,184	10,917
総資産	122,885	140,174	149,655	9,481
BIS比率(自己資本比率)	21.28%	18.70%	19.29%	0.59%
同Tier1比率	25.70%	22.99%	24.40%	1.41%

(注) 2008/9末は、旧DBJの残高及び比率であります。

2. 損益計算書(単体)

(単位：億円)	2008/9期 (6ヶ月決算)	2009/3期 (6ヶ月決算)	2009/9期 (2010/3期中間期)	(参考)前期 (6ヶ月)比増減
1 業務粗利益	470	461	787	326
2 資金利益	491	517	596	79
3 役務取引等利益	29	44	58	14
4 その他業務利益	△ 50	△ 100	131	232
5 営業経費	△ 162	△ 152	△ 158	△ 6
6 業務純益(一般貸引繰入前)	308	309	628	319
7 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	△ 247	△ 1,038	—	1,038
8 業務純益(一般貸引繰入後)	61	△ 729	628	1,358
9 その他臨時損益(△は費用)	△ 355	△ 460	△ 78	381
10 不良債権関連処理損失	△ 242	△ 216	△ 19	197
11 株式関係損益	△ 169	△ 120	△ 26	93
12 その他	55	△ 123	△ 32	91
13 ファンド関連損益	53	△ 127	△ 37	89
14 経常利益(△は経常損失)	△ 294	△ 1,189	550	1,740
15 特別損益	17	32	167	134
16 貸倒引当金戻入益・取立益	17	33	146	113
17 投資損失引当金戻入益	—	—	20	20
18 税引前中間純利益 (△は税引前当期純損失)	△ 276	△ 1,157	717	1,874
19 法人税等	—	△ 135	△ 248	△ 113
20 中間純利益(△は当期純損失)	△ 276	△ 1,292	469	1,761

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値であります。

① 業務粗利益

- ・ 資金利益は、危機対応業務に伴う融資残高増加や利鞘の拡大等により改善。
- ・ 役務取引等利益では、出融資手数料収入が増加。
- ・ その他業務利益では、CDSの評価損益が改善。

② 与信関係費用

貸倒引当金(ネット)の戻入益を計上。

③ 株式関係損益・ファンド関連損益

全体として底を打ったとみられることから、赤字幅は縮小。

④ 中間純利益等

2009年度中間期決算は、経常利益550億円、中間純利益469億円の黒字を計上。

	2008/9期 (6ヶ月決算)	2009/3期 (6ヶ月決算)	2009/9期 (2010/3期中間期)	(参考)前期 (6ヶ月)比増減
貸出金等利回り	2.38%	2.30%	2.18%	△0.12%
外部負債利回り	1.83%	1.65%	1.51%	△0.14%
利幅	0.55%	0.65%	0.67%	0.02%
営業経费率	0.32%	0.30%	0.27%	△0.03%
利鞘	0.23%	0.36%	0.41%	0.05%

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値をもとに計算しております。

3. 貸借対照表(単体)

(単位：億円)		2008/9末	2009/3末(A)	2009/9末(B)	増減(B)-(A)
1	現金預け金	1,975	583	804	220
2	有価証券	5,321	12,266	13,542	1,275
3	貸出金	112,946	120,266	131,184	10,917
4	有形固定資産	357	1,623	1,622	△ 1
5	支払承諾見返	1,480	1,602	1,658	56
6	貸倒引当金	△ 1,565	△ 2,738	△ 2,579	158
7	その他	2,369	6,568	3,423	△ 3,145
8	資産の部合計	122,885	140,174	149,655	9,481
9	債券・社債	33,748	35,130	36,204	1,074
10	借入金	65,554	80,648	87,408	6,760
11	その他	3,260	3,636	3,781	144
12	負債の部合計	102,563	119,415	127,394	7,978
13	資本金	12,722	10,000	11,032	1,032
14	資本剰余金	—	11,577	10,604	△ 972
15	利益剰余金	8,328	△ 972	469	1,441
16	評価差額金他	△ 730	153	154	0
17	純資産の部合計	20,321	20,758	22,260	1,502

① 総資産

2009/9末残高は、2009/3末より9,481億円増加。

② 資産

- ・貸出金は、危機対応融資の増加により13兆1,184億円へと、2009/3末より1兆917億円増加。
- ・有価証券も1兆3,542億円へと2009/3末より1,275億円増加。
- ・その他の減少は、コールローン・買現先等。

③ 負債・純資産

- ・債券・社債、借入金とも危機対応に伴い増加（日本公庫借入残高は1兆2,953億円の増加）。
- ・資本金は、1,032億円の増資により1兆1,032億円。
- ・資本剰余金の減少は、欠損金補填のための取崩。

(参考) 株主資本等変動計算書

(単位：億円)	2009/3末	2009/9期変動額				2009/9末		
		増資	剰余金振替	中間純利益	その他			
1	資本金	10,000	1,032	1,032	—	—	11,032	
2	資本剰余金	11,577	△ 972	—	△ 972	—	10,604	
3	利益剰余金	△ 972	1,441	—	972	469	—	469
4	株主資本	20,604	1,501	1,032	—	469	—	22,106
5	有価証券評価差額金	△ 24	55	—	—	—	55	31
6	繰延ヘッジ損益	178	△ 54	—	—	—	△ 54	123
7	評価・換算差額等	153	0	—	—	—	0	154
8	純資産合計	20,758	1,502	1,032	—	469	0	22,260

(注) 2008/9末は、旧DBJの決算数値であります。

4. 業務別損益概況(単体)

- ◆融資業務については、融資損益の伸長があったことに加え、償却・引当（ネット）のプラス計上により、703億円の黒字を計上（2009/3期は赤字計上）。
- ◆投資業務については、ファンド関連損失が2009/3比縮小。また償却・引当（ネット）のプラス計上により、2009/3期比赤字幅は縮小。

(単位：億円)		2009/3期 (6ヶ月決算)	2009/9期 (2010/3期中間期)	説明概要
1	融資業務	△ 706	703	
2	融資損益	544	584	金融危機対応業務に伴う残高増加や利鞘の拡大による資金利益の増加等により改善。
3	償却・引当（ネット）	△ 1,251	118	一部取引先の債務者区分の変更により、一般貸倒引当金・個別貸倒引当金間の異動はあったが、全体では118億円のプラスとなった。
4	投資業務	△ 242	△ 23	
5	投資損益	△ 90	△ 35	ファンド関連損益を中心に損失が縮小。
6	償却・引当（ネット）	△ 152	11	投資先の業績下げ止まりにより償却額が減少したほか、連結子会社が保有する証券化商品の評価回復に伴う投資損失引当金の戻入もあり、全体ではプラスとなった。
7	役員取引等収支	44	58	出融資手数料収入が増加。
8	その他業務収支	△ 99	132	CDSについて市場が落ち着きを取り戻し評価損益が改善。
9	営業経費	△ 152	△ 158	営業経費はほぼ横這い。
10	その他損益(臨時損益等)	△ 0	5	上記収支に含まれない臨時損益、特別損益等
11	税引前中間純利益 (△は税引前当期純損失)	△ 1,157	717	
12	法人税等	△ 135	△ 248	法人税等248億円を計上。
13	中間純利益 (△は当期純損失)	△ 1,292	469	

(注) 業務分野の区分表記につきましては、経営管理上のものです。

5. クレジットコスト・投資損益(単体)

(単位：億円)		2008/9期 (6ヶ月決算)	2009/3期 (6ヶ月決算)	2009/9期 (2010/3期中間期)	(参考)前期 (6ヶ月)比増減
1	与信関係費用	△ 471	△ 1,222	127	1,349
2	貸倒引当金繰入(△) または戻入	△ 452	△ 1,226	138	1,364
3	貸出金償却	△ 36	△ 25	△ 19	6
4	償却債権取立益他	17	29	8	△ 20
5	株式・ファンド関係損益	△ 116	△ 247	△ 44	203
6	株式等関係損益	△ 169	△ 120	△ 6	113
7	投資損失引当金繰入 (△)または戻入	△ 33	△ 42	20	63
8	株式等償却	△ 180	△ 109	△ 8	100
9	株式等売却益	45	32	3	△ 28
10	株式等売却損	-	-	△ 21	△ 21
11	ファンド関連損益	53	△ 127	△ 37	89
12	ファンド関連利益	127	37	32	△ 5
13	ファンド関連損失	△ 74	△ 164	△ 70	94

①与信関係費用

一部取引先の債務者区分の変更により、一般貸倒引当金・個別貸倒引当金間の異動はあったが、与信関係費用全体として127億円の戻入益を計上。

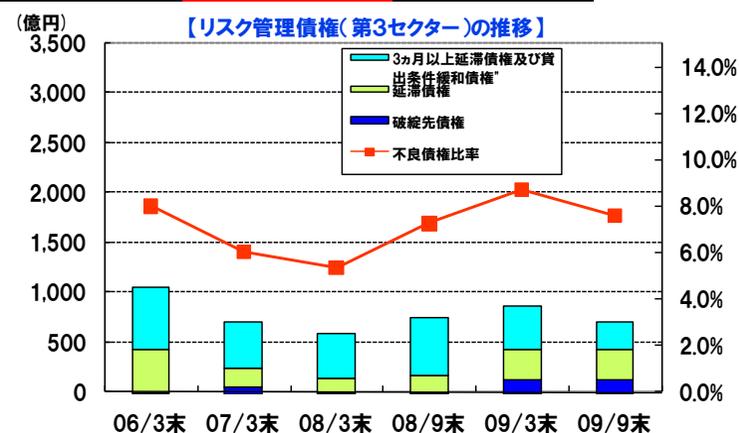
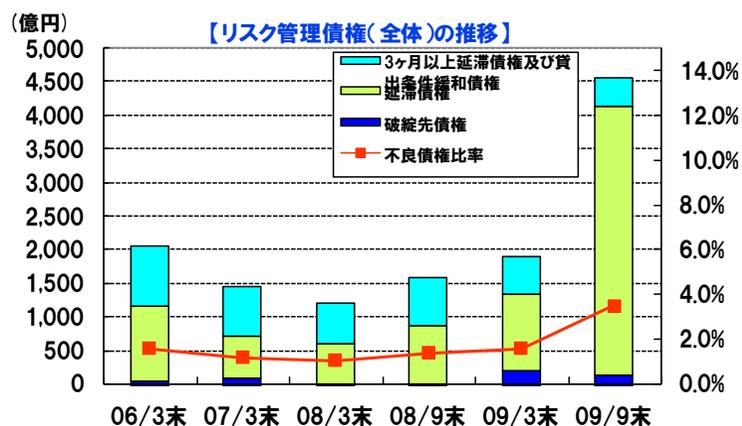
②株式・ファンド関係損益

投資先の業績下げ止まりによる償却額の減少、連結子会社が保有する証券化商品の評価回復による投資損失引当金の戻入、ファンド関連損失の縮小など、全体として底を打ったとみられることから赤字幅は縮小。

6. 不良債権の状況(単体)

- ◆一部取引先の債務者区分の引き下げにより、リスク管理債権残高、同不良債権比率ともに2009/3末比増加。
- ◆第3セクター向け債権、同リスク管理債権、同不良債権比率いずれも2009/3末比減少。

(単位：億円)		2009/3末 (A)	2009/9末 (B)	増減 (B) - (A)
	破綻先債権	189	129	△ 60
	延滞債権	1,137	4,007	2,869
	3ヶ月以上延滞債権 及び貸出条件緩和債権	568	433	△ 134
	リスク管理債権 (A)	1,895	4,569	2,674
	貸出金残高 (B)	120,266	131,184	10,917
	(A) / (B)	1.58%	3.48%	1.91%
セ ク タ ー 3	リスク管理債権 (C)	860	701	△ 159
	貸出金残高 (D)	9,888	9,213	△ 674
	(C) / (D)	8.71%	7.61%	△ 1.09%



7. 金融再生法開示債権の保全状況(単体)

- ◆一部取引先の債務者区分の引き下げにより、金融再生法開示債権（危険債権）残高が2009/3末比増加。同不良債権比率は3.44%（2009/3末：1.57%）。
- ◆金融再生法開示不良債権に対する保全率は引き続き高水準を堅持。

①金融再生法開示債権の状況（部分直接償却実施後）

(単位：億円)	2009/3末	2009/9末	増減 (B)-(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	211	141	△ 70
危険債権	1,154	4,033	2,879
要管理債権	568	434	△ 135
開示債権合計	1,933	4,608	2,675

②保全率

(単位：%)	2009/3末	2009/9末	増減 (B)-(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.0	100.0	—
危険債権	99.5	100.0	0.5
要管理債権	89.1	92.3	3.2
開示債権合計	96.5	99.3	2.8

③その他債権に対する引当率

(単位：%)	2009/3末	2009/9末	増減 (B)-(A)
要管理債権以外の要注意先債権	31.1	8.8	△22.4
正常先債権	0.1	0.0	△0.0

8. 連結損益計算書・連結貸借対照表

- ◆2009/9末の連結子会社は11社(対前期末比+2社)、持分法適用関連会社は14社(対前期末比+1社)。非連結、持分法非適用の子会社・関連会社を含めると合計は133社(対前期末比△2社)。
- ◆当行単体と連結グループでの損益・財政状態の差異は僅少であり、PLで△14億円、BSで263億円の差。

(単位：億円)		2009/9期	(参考) 当行単体	連単差異	(単位：億円)		2009/9末	(参考) 当行単体	連単差異
1	連結業務粗利益	787	787	0	1	現金預け金	902	804	97
2	資金利益	597	596	0	2	有価証券	13,893	13,542	351
3	役務取引等利益	58	58	△0	3	貸出金	131,005	131,184	△178
4	その他業務利益	131	131	0	4	有形固定資産	1,622	1,622	0
5	営業経費	△164	△158	△5	5	支払承諾見返	1,628	1,658	△30
6	連結業務純益(一般貸引繰入前)	623	628	△4	6	貸倒引当金	△2,607	△2,579	△27
7	一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	-	-	7	その他	3,480	3,423	57
8	連結業務純益(一般貸引繰入後)	623	628	△4	8	資産の部合計	149,925	149,655	270
9	その他臨時損益(△は費用)	△71	△78	6	9	債券・社債	36,204	36,204	-
10	不良債権関連処理損失	△19	△19	-	10	借入金	87,439	87,408	30
11	株式関係損益	△33	△26	△6	11	その他	3,758	3,781	△23
12	持分法による投資損益	△0	-	△0	12	負債の部合計	127,401	127,394	7
13	その他	△18	△32	13	13	資本金	11,032	11,032	-
14	経常利益(△は経常損失)	551	550	1	14	資本剰余金	10,604	10,604	-
15	特別損益	148	167	△18	15	利益剰余金	463	469	△5
16	貸倒引当金戻入益・取立益	147	146	1	16	評価差額金他	181	154	26
17	投資損失引当金戻入益	1	20	△19	17	少数株主持分	241	-	241
18	税引等調整前中間純利益	700	717	△17	18	純資産の部合計	22,523	22,260	263
19	法人税等	△248	△248	0					
20	少数株主利益(△は少数株主損失)	△2	-	△2					
21	中間純利益	454	469	△14					

9. 金融危機対応業務にかかる実績について

- ◆ 2008年10月1日：指定金融機関として危機対応業務を開始
- ◆ 同年12月11日：金融危機対応融資業務を開始(当該業務実施期間は2010年3月末日まで)
- ◆ 2009年1月30日：危機対応業務としてCP購入を開始
- ◆ 2009年9月末時点での危機対応業務関連累計融資額は2兆6,254億円(620件)*1
 なお、同時点での損害担保契約付累計融資額は、2,123億円(19件)*2
- ◆ 同時点での危機対応業務関連CP購入累計額は3,610億円(68件)*3
- ◆ 2009年9月24日：2008年12月～2009年6月末の金融危機対応業務実績に応じて、
 総額1,032億32百万円の増資。

※1 2008年12月以降の危機対応業務としての累計融資額であり、日本公庫からの信用供与(借入等)を受けた金額実績。

※2 日本公庫へ申込予定のものを含む。

※3 2009年1月以降の危機対応業務としての累計CP購入額。

